

感性豊かな文化の担い手育成プランの推進 ～こどもの文化芸術体験活動の推進～

(前年度予算額 52億3千万円)
18年度予算額 54億6千万円

次代を担う子どもたちに文化芸術に触れる感動や楽しさを伝え、子どもたちの感性や想像力を刺激して、一人一人の可能性を引き出す。

子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育む

「本物の舞台芸術に触れる機会の確保」(拡充)

～優れた舞台芸術の鑑賞と体験～

18年度予算額 30億円 (前年度予算額 25億4千万円)

- ◆オーケストラ、舞踊、演劇など優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供。
- ◆芸術団体による実演指導・鑑賞指導など事前ワークショップの実施
- ◆公演当日に子どもたちが共演に参加

《学校公演》

540公演 (←400公演)

《公立文化施設公演》

120公演 (120公演)



《富山県小杉町立小杉小学校での関西フィルハーモニー公演》

○プロのオーケストラの生演奏に接し、鑑賞した子ども達はみんな、「素晴らしい演奏で鳥肌がたった。」「本当にすごい迫力でびっくりした。」と非常に感動した。

○金管バンドクラブの子ども達は、関西フィルハーモニーとともに合奏し、プロのオーケストラと演奏できたことが大きな励みになり、練習に一層意欲的に取り組んでいる。

学校の文化活動の推進

～文化活動の参加意欲の向上・発表機会の充実～

18年度予算額 1億4千万円 (前年度予算額 1億4千万円)

- ◆学校への芸術家等派遣事業
 - ・地域出身の芸術家や伝統芸能保持者を学校に派遣
 - ・講話と簡単な実技披露
- ◆全国高等学校総合文化祭の開催

《芸術家等派遣》1,505名 (1,505名)

《全国高等学校総合文化祭》

京都大会開催予定 (8/2~6)



《第29回全国高等学校総合文化祭青森大会》

○昨年の7月26日~31日の5日間に、吹奏楽、演劇、美術など23部門が開催され、全国及び海外4カ国から約1万8千人の高校生が参加し、日ごろの練習の成果を発表した。

○成果の発表のみならず、大会の多彩な企画や、会場設営、会場案内など会場運営全般も高校生自らが手がけた。

○文化芸術の下で、高校生が一つにまとまり、若い大きなエネルギーを発揮できた場となった。

伝統文化こども教室事業(拡充)

～伝統文化の継承・伝承～

18年度予算額 15億9千万円(前年度予算額 14億9千万円)

- ◆土・日曜日等に、学校・文化施設等を拠点として実施。
- ◆茶道、華道、日本舞踊、伝統音楽、郷土芸能などの伝統文化を計画的、継続的に習得できる機会を提供。

《実施地域》

2,600件 (←2,250件)



《福井県鯖江市での「吉川茶道こども教室」》

○地域の公民館を会場に、10~30名の子ども達が、計20回にわたり、「吉川茶道こども教室」に参加した。

○子ども達は、20回の稽古で茶室でのマナーを身に付け、準備から後片付けまでを自然と出来るようになった。のみならず、正座や畳に手をついての挨拶、帛紗(ふくさ)さばきなどの形式的な作法を取得しただけでなく、それらの伝統的な作法が持つ奥深い意味をも理解できるようになり、子ども達の内面にも良い影響があった。

「文化芸術による創造のまち」支援事業

～子どもたちが参加する文化活動の環境醸成～

18年度予算額 5億1千万円 (前年度予算額 7億1千万円)

子どもたちが参加する文化活動を活性化させるため

- ◆地域文化リーダーの育成
- ◆地域の文化芸術団体の育成
- ◆シンポジウム等による発信・交流を行う市区町村実行委員会を支援する。 《実施地域》 94地域 (←47地域)



《宮城県大郷町の例》

○子どもから大人までの町民による町民劇団「おおさと夢劇団」を結成し、手作り町民劇「明るい農村～夜明け朝明け」公演を実施した。

○劇団員のほか運営スタッフ・サポーターなど多くの町民の協力により成し遂げたことにより、町全体に大きな感動を与えることができた。また、子どもから70代までの幅広い世代の参加により、世代を超えた交流を図りながら参加者同士のつながりを深めることができた。

「地域教育力再生プラン」文化体験プログラム支援事業

～身近な地域で文化に触れ体験する機会の提供～

18年度予算額 2億1千万円 (前年度予算額 3億5千万円)

- ◆子どもたちが、日常生活圏の中で、地域の特色ある芸術文化、伝統文化、文化財等の様々な文化に触れ、体験できるプログラムを実施する市区町村、市区町村実行委員会を支援する。

《実施地域》 94地域 (94地域)



《茨城県日立市の例》

○日立市文化協会の協力の下、生け花、茶道、日本舞踊、演劇など24の様々な体験プログラムを実施し、延べ約2,500人の子どもたちが参加した。

○この事業の成果を活かし、様々な文化に興味を持った子どもたちが日常的に活動できるよう、日立市は「日立市文化少年団」を設立した。少年団には、「書道」「茶道」「能楽」など26の分野で、約650人の子どもたちが熱心に活動を展開している。